


施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 生活水道課 課長 金子喜一郎	
	施策	12	循環型社会づくりの推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民 ②一般廃棄物	①ごみを適正に分別し、減量と資源化を積極的に行い、環境への負荷を軽減させる。 ②適正に処理される。		基本事業	1
		2	ごみの資源化の推進		①町民 ②一般廃棄物 ①分別を徹底する。 ②適正に処理される。
		3			
		4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 町民への意識啓発を通じて、ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、循環型社会の構築を目指します。 ごみ処理施設の安定稼働を継続させるとともに、ごみの適正処理を推進します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	ごみの減量へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	86.4	85.9	84.0	86.8	92.4	91.6
目標値					86.5	87.0	87.5	88.0	89.0	90.0
B	ごみの総排出量/1人1日あたりの排出量	t/g	実績値	5,966/819	5,619/789	6,127/877	5,940/865	5,784/864	-	
			目標値		5,906/790	5,846/780	5,786/770	5,726/760	5,666/750	5,606/740
C	ごみの資源化率(リサイクル率)	%	実績値	57.7	50.9	60.0	58.2	61.5	-	
			目標値		57.8	61.0	61.5	62.0	62.5	63.0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と把握方法	<p>A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。→「特に取り組んでいない」と回答しなかった人の割合</p> <p>B)数値が低ければ町民がごみの減量を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。 一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表)</p> <p>C)数値が高まれば、町民がごみの資源化を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。 一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※リサイクル率(%)=(集団回収量+資源化量)÷ごみの総排出量</p>
---------------	---

目標値設定の考え方	<p>A)町民アンケートで86.4%と高い割合になっているが、3R等の分別を促進することにより、平成34年度は90.0%を目標とする。</p> <p>B)ごみの総排出量は、年々低くなっているが、1人1日当たりのごみ排出量は、微減状態のため、平成34年度の成り行き値を750gとしたが、若年層へのPRや3R等の分別を促進することにより、平成34年度は740gを目標とする。 ※一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※少子高齢化で人口が減少して行く中、ごみを分別していた世代が減少し、ごみを分別しない世代の割合が増加したと考えられる。</p> <p>C)リサイクル率は、現在でも、57.7%と高い割合になっているため、平成34年度の成り行き値を57.8%としたが、さらに3R等の分別を促進することにより、平成34年度は63.0%を目標とする。 ※一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※リサイクル率(%)=(集団回収量+資源化量)÷ごみの総排出量 本町では、可燃ごみを焼却せず、RDF(固形燃料)として資源化しているため、県下最上位のリサイクル率である。 ※庁舎エコ活動推進委員会を設置し、町職員の3R等の分別意識向上に取り組み、ごみの減量化を図る。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方のルールを守り、きちんと分別するなど、ごみの減量化・資源化に取り組む。 ごみを出さないよう、マイバッグやエコバッグを持参するなどの身近なエコ活動に取り組む。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量や資源化、適正処理のための周知・啓発を行う。 ごみを適正に収集・処理する。
---------------	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの総排出量は、年々減少しているが、人口減少もあり、町民1人1日あたりのごみの排出量が横ばい状態になっている。 アメニティパークの処理施設が稼働開始から20年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。施設の性能水準の回復と長寿命化するための点検整備をしなければならない。 一般廃棄物の処理広域化の協議が進められている。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ袋の無料化 早急に実現を! 生ゴミ(赤)の使用量の調査について、使い切れずに大量に残っている話を聞きます。アンケート等により調査、検討して税金の無駄遣いにならないように。 ゴミ袋(赤)みどりはあまり使わないので黄色と取り替えてほしい。ハガキ交換時必要な袋がほしい。
-----------	--

施策	12	循環型社会づくりの推進	主管課	名称	生活水道課
				課長	金子喜一郎

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①ごみの減量に向けて何らかの取組を行っている町民の割合は、令和元年度で86.8%、令和2年度は92.4%と上昇傾向にあったが、令和3年度は91.6%と横ばい状態となった。 ②町民1人あたりのごみ排出量(事業系+生活系)は、令和元年度865g、令和2年度は864gと横ばい状態にある。 ③ごみの資源化率(リサイクル率)は、令和元年度58.2%、令和2年度は61.5%となり上昇している。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①町民1人1日あたりのごみの排出量は、令和2年度864gで県下35自治体中9位であった。令和2年度の近隣市町村の1人1日あたりのごみ排出量は、昭和村833g(7位)、川場村970g(17位)、沼田市1,094g(27位)、片品村1,333g(34位)であった。 ①リサイクル率は、令和2年度61.5%で県下35自治体中1位であった。令和2年度の近隣市町村のリサイクル率は、沼田市17.6%(10位)、昭和村16.1%(13位)、川場村12%(23位)、片品村11.2%(25位)であった。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①ごみの減量に向けて何らかの取組を行っている町民の割合は、目標値89.0%に対し91.6%となり2.6%上回った。令和3年度アンケート結果の1位は【マイバックを利用する】で81.4%であり、昨年の84.8%から3.4%と減少した。 ②ごみ総排出量は令和2年度の目標値5,726tに対して5,784tと58t上回った。町民1人あたりのごみ排出量(事業系+生活系)は、令和2年度の目標値760gに対して864gであり104g目標に達しなかった。 ③ごみの資源化率(リサイクル率)は、令和2年度の目標値62.0%に対して61.5%であり、0.5%目標に達しなかった。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1 ごみの減量の推進	A 一般家庭から排出された可燃ごみの量	t/年		3,264	3,050	3,085	2,954	2,772	2,821	
	B				3,050	3,020	2,990	2,960	2,930	2,900
2 ごみの資源化の推進	A 直接資源化できる量(古紙類)	t/年		406	383	349	348	412	416	
	B 集団回収できた量	t/年		80.3	78.9	82.1	81.1	78.7	78.8	
3	A									
	B									
4	A									
	B									

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 ごみの減量の推進	①可燃ごみの処理手法を転換し処理経費削減対策 ②生ごみの減量化・資源化の推進	①RDFの生産を止め、施設を休止し、可燃ごみを外部搬出するための中継設備を整備する。利根沼田ブロックでの広域処理を目指し、それまでの間は近隣自治体及び民間業者による処理を行い、処理経費の削減を目指す。 ②生ごみ量の発生を少なくするための啓発、生ごみ処理機購入補助制度を利用した資源化を推進する。
2 ごみの資源化の推進	①可燃ごみに混在している紙ごみの分別を徹底し資源化の推進 ②プラスチック資源循環促進法の施行(令和4年4月)に伴う、廃プラごみの資源化	①ごみの減量化、資源化を促進するために、紙ごみの分別を促進するための啓発を推進していく。 ②ごみ分別品目の見直しを行い、廃プラごみの分別収集を検討し資源化を目指す。
3		
4		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	生ごみ処理容器等購入補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	555,600 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		町内は、山間部が多くあり、収集経路や収集方法等の見直しや合理化	PR活動等でこの事業が住民に概ね周知されていることから、参加意思があれば集団回収自体は難しい事業ではないので特に解決すべき課題はない。	登録団体の増減はなかった。	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	電機式生ごみ処理機購入補助台数		
事務事業		000011	ごみ処理広域化推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	317,800 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等	共同処理施設の範囲及び施設規模の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出 ・5市町村による共同処理及び建設に関する協定書の締結	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	協議会開催回数		
事務事業		000002	塵芥収集事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	107,413,491 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		町民から排出される家庭ごみをスムーズに収集・運搬し、衛生的な生活環境の確保に努める。その他、指定袋の管理・ごみ集塵箱の作成、修繕・委託事務・統計事務・請求業務等。	ごみ収集組合と収集ルートや収集方法の見直し等を協議した。	ごみ全体収集量(可燃・不燃・資源ごみ等)	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	5784	5797	t
事務事業		000003	資源集団回収奨励金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	630,480 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		家庭から排出される再生可能な資源物(古紙類、かん、ペットボトル)を分別し、回収することにより、ごみの減量化及び資源化を図るため回収を行う団体に対して奨励金を交付する。	PR活動等でこの事業が住民に概ね周知されていることから、参加意思があれば集団回収自体は難しい事業ではないので特に解決すべき課題はない。	登録団体の増減はなかった。	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	21	21	団体

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	生ごみ処理容器等購入補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	555,600 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等	共同処理施設の範囲及び施設規模の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出 ・5市町村による共同処理及び建設に関する協定書の締結	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	電機式生ごみ処理機購入補助台数		
事務事業		000011	ごみ処理広域化推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	317,800 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等	共同処理施設の範囲及び施設規模の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出 ・5市町村による共同処理及び建設に関する協定書の締結	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	協議会開催回数		
事務事業		000002	塵芥収集事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	107,413,491 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		町民から排出される家庭ごみをスムーズに収集・運搬し、衛生的な生活環境の確保に努める。その他、指定袋の管理・ごみ集塵箱の作成、修繕・委託事務・統計事務・請求業務等。	ごみ収集組合と収集ルートや収集方法の見直し等を協議した。	ごみ全体収集量(可燃・不燃・資源ごみ等)	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	5784	5797	t
事務事業		000003	資源集団回収奨励金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	630,480 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		家庭から排出される再生可能な資源物(古紙類、かん、ペットボトル)を分別し、回収することにより、ごみの減量化及び資源化を図るため回収を行う団体に対して奨励金を交付する。	PR活動等でこの事業が住民に概ね周知されていることから、参加意思があれば集団回収自体は難しい事業ではないので特に解決すべき課題はない。	登録団体の増減はなかった。	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	21	21	団体

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	生ごみ処理容器等購入補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	555,600 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等	共同処理施設の範囲及び施設規模の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出 ・5市町村による共同処理及び建設に関する協定書の締結	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	電機式生ごみ処理機購入補助台数		
事務事業		000011	ごみ処理広域化推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	317,800 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等	共同処理施設の範囲及び施設規模の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出 ・5市町村による共同処理及び建設に関する協定書の締結	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	協議会開催回数		
事務事業		000002	塵芥収集事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	107,413,491 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		町民から排出される家庭ごみをスムーズに収集・運搬し、衛生的な生活環境の確保に努める。その他、指定袋の管理・ごみ集塵箱の作成、修繕・委託事務・統計事務・請求業務等。	ごみ収集組合と収集ルートや収集方法の見直し等を協議した。	ごみ全体収集量(可燃・不燃・資源ごみ等)	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	5784	5797	t
事務事業		000003	資源集団回収奨励金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	630,480 円		
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		家庭から排出される再生可能な資源物(古紙類、かん、ペットボトル)を分別し、回収することにより、ごみの減量化及び資源化を図るため回収を行う団体に対して奨励金を交付する。	PR活動等でこの事業が住民に概ね周知されていることから、参加意思があれば集団回収自体は難しい事業ではないので特に解決すべき課題はない。	登録団体の増減はなかった。	事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					令和 2年度	令和 3年度	単位		
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	21	21	団体

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	奥利根アメニティパーク施設管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	48,684,067 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	廃棄物処理法に基づき、毎年のみなかみ町一般廃棄物実施計画を策定・告示し町内のごみ及びし尿・浄化槽汚泥等を適正に処理するための需用費の管理、法定点検、法定分析業務委託などアメニティパーク全体の管理運営業務		固形燃料化施設週4日運転実証試験を3ヶ月行って電気使用量の削減が実証できた。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					施設処理量(可燃ごみ)				
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設運転に伴う電気使用量及び施設維持管理にはコストがかかる	各処理施設の大規模設備起動時間帯を重ならない運転方式にし電気使用量のピークカットを実施する。電気使用量削減と最大需要電力を下げた電気事業者との基本契約減額を計画する。	3525	3622	t	

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	燃やせるごみ固形燃料(RDF)化事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	252,481,133 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	町内で排出され、収集及び直接搬入された家庭系・事業系の可燃ごみを固形燃料化施設において破碎・乾燥・圧縮成型の工程により固形燃料(RDF)とするための維持管理。		固形燃料化施設週4日運転実証試験を3ヶ月行って電気及びごみ乾燥用灯油使用量等の削減が実証できた。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					製造した固形燃料の量				
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設の稼働から20年が経過し、設備の老朽化に伴う修繕箇所が増加や更新工事に経費が掛かる。	来年度から可燃ごみの一部を区域外処理することで施設週4日運転を実施し電気料・燃料費等の経費削減を目指す。	2229	1566	t	

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	資源ごみ等リサイクル事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	57,472,447 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	生活系及び事業系一般廃棄物(粗大・不燃・資源ごみ)から資源物を効率的に回収し、ごみの減量化を図るためのリサイクル施設の適正運転及びごみ破碎後に出る残渣物の適正な処理をする。		コロナ禍の影響により粗大系ごみが例年の1.3倍搬入され、処理後の残さも増えてしまった。突発的な設備故障が4件発生し緊急工事を行った。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					搬入量(ペットボトル含む)				
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	老朽化した設備の延命化工事を計画的に行い、適正な施設運転をしていく、また選別後の残さの処理単価が高騰してきている	精密機能検査や施設設備年次点検等を参考に主要設備の延命化工事を計画する。	1008	1333	t	

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	し尿・浄化槽汚泥処理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	83,609,169 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	町民の家庭で使用している浄化槽の清掃水及び汲み取りし尿を奥利根アメニティパークのし尿処理施設にて適切な処理をする運転保守管理業務		施設の精密機能検査を執行した結果、膜分離処理設備の劣化でSS(浮遊物質量)が通過し出していることが判明した。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					搬入量(し尿) ・搬入量(浄化槽汚泥)				
組織名		生活水道 課		奥利根アメニティパーク業務		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設稼働から20年以上経過しているため設備機器が老朽化し、これらの延命化修繕・更新工事に経費がかかってくる、放流水の法定排出基準を遵守しなくてはならない	水質汚濁防止法でSSは放流基準項目に該当するので、法定基準値を遵守するため来年度に膜分離処理設備の整備を計画した。	718・5,010	706・4,868	kl	